

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくります

地元の声

- ・かけ崩れから避難所に指定されている赤谷公民館を守っていただきたい。(地元住民)
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。(地元住民)



事業位置
みなかみ町

事業の概要

- 事業箇所: みなかみ町相俣
- 事業内容: 擁壁工 71.6m
- 事業期間: 令和2年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



保全対象 (赤谷公民館)

事業前の状況

事業後

- ◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

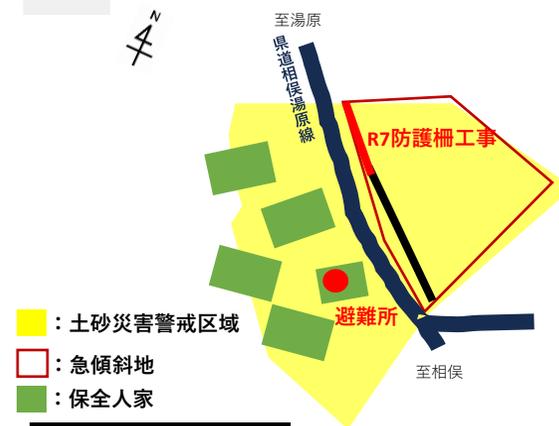


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	9戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (赤谷公民館)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (県道相俣湯原線)

実施後(目標)
0戸
0施設
0路線

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



■ : 土砂災害警戒区域

□ : 急傾斜地

■ : 保全人家

今、何をしているか

令和7年度は引き続き擁壁工の工事を実施します。



擁壁完成区間の状況